4　環境行政年表

昭和30年７月１日
　白山が国定公園に指定される
昭和34年６月１日
　航空自衛隊小松基地隊発足
昭和37年11月12日
　白山国定公園が国立公園に昇格、景観地保護事業に着手
昭和38年７月10日
　石川県立自然公園条例施行
昭和39年７月
　公害対策協議会発足
昭和42年10月１日
　山中・大日山、獅子吼・手取の県立自然公園を指定
昭和43年５月１日
　能登半島国定公園、越前加賀海岸国定公園が指定される
昭和44年４月１日
　厚生部環境衛生課に公害係（３名）設置
昭和44年４月１日
　石川県公害防止条例を施行、石川県公害対策審議会を発足
昭和44年６月10日
　公害対策審議会委員30名を任命、18日初会合
昭和45年３月23日
　石川県公害防止条例施行規則を施行

昭和45年４月１日
　厚生部に公害対策室（６名）設置
昭和45年４月１日
　騒音規制地域を指定（金沢市）
昭和45年４月１日
　公害防止施設整備資金融資制度を創設
昭和45年６月１日
　碁石ヶ峰県立自然公園を指定
昭和45年８月17日
　石川県公害対策本部を設置
昭和45年９月１日
　公害対策室を公害課（12名）に昇格
昭和45年９月１日
　衛生研究所の生活環境科（６名）を公害部（13名）に昇格
昭和45年９月10日
　金沢大学等による梯川流域住民の精密検診の結果を発表（カドミウムによる中毒症状及びイタイイタイ病の疑いのある者は認められず）
昭和45年11月１日
　石川県公害紛争処理等に関する条例及び同施行規則を施行
昭和45年12月
　衛生研究所を金沢市三馬に新築移転
昭和46年３月20日
　石川県公害防止条例を一部改正（経済発展との調和条項の削除等）

昭和46年４月１日
　厚生部内に公害局（28名）を設置、企画調整課（12名）、規制指導課（15名）の２課で発足
昭和46年７月７日
　石川県公害防止条例を一部改正（水質審議会を規定）
昭和46年10月１日
　石川県自然保護条例を施行
昭和46年10月15日
　公害局を公害環境部（41名）に昇格し、環境整備課（環境保全、廃棄物）を設置
昭和46年10月15日
　衛生研究所を衛生公害研究所に改称
昭和47年３月31日
　北陸鉱山（株）、鉱業権放棄

昭和47年４月１日
　水質環境基準の類型指定（犀川、浅野川）
昭和47年９月８日
　公害環境モニター制度発足
昭和47年９月27日
　日本鉱業（株）に対し鉱害防止措置命令
昭和47年10月１日
　上乗せ排水基準条例（水質汚濁防止法第３条第３項の規定による排水基準を定める条例）を施行（犀川、浅野川）
昭和47年10月17日
　北陸鉱山（株）に対し鉱害防止措置命令
昭和48年３月30日
　水質環境基準の類型指定（大野川、大聖寺川）

昭和48年５月１日

騒音規制地域を指定（金沢市、七尾市、野々市町、内灘町）
昭和48年５月１日
悪臭規制地域を指定（金沢市）
昭和48年７月１日
白山自然保護センター開館
昭和48年７月５日
環境整備課を環境保全課に改称
昭和48年７月６日
排水基準を定める条例の一部改正（大野川、大聖寺川を追加）
昭和48年７月６日
自然環境保全審議会設置
昭和48年９月１日
白山一里野県立自然公園を指定
昭和48年10月１日
尾小屋鉱山鉱害防止事業（鉱害防止義務者不存在のもの）着手
昭和48年10月６日
石川県自然環境保護条例を施行、石川県自然保護条例を廃止
昭和48年11月５日
梯川流域汚染防止対策室を設置
昭和48年12月17日
大気監視センター発足
昭和49年３月25日
梯川流域の農用地土壌汚染細密調査開始
昭和49年３月30日
水質環境基準の類型指定（梯川、新堀川、御祓川、河原田川）

昭和49年４月12日
石川県産業廃棄物処理計画を策定
昭和49年７月19日
排水基準を定める条例の一部改正（梯川、新堀川、御祓川を追加）
昭和49年９月27日
石川県大気汚染緊急時対策要綱を施行
昭和49年10月22日
石川県自然環境保全基本方針を定める
昭和50年１月１日
石川県公害防止条例を一部改正（地下水採取規制を追加）
昭和50年３月28日
水質環境基準の類型指定（手取川、七尾湾）
昭和50年３月31日
農用地土壌汚染対策地域（小松市梯川流域）を指定

昭和50年４月１日
石川県公害紛争処理等に関する条例を一部改正（公害審査会に関する規定を追加）
昭和50年５月１日
騒音規制地域を指定（小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、松任市、根上町、寺井町、津幡町、高松町、七塚町、宇ノ気町、志賀町）
昭和50年５月１日
悪臭規制地域を指定（七尾市、小松市、加賀市、羽咋市、松任市、根上町、寺井町）
昭和50年７月８日
排水基準を定める条例の一部改正（手取川、七尾湾を追加）
昭和50年９月16日
小松、加賀両市の住民12名、「ファントム等ジェット戦闘機騒音差し止め請求訴訟」提訴
昭和50年10月４日
小松基地周辺の騒音対策に関する基本協定（10・４協定）締結
昭和51年２月１日
石川県公害防止条例施行規則を一部改正（地盤沈下地域指定）
昭和51年３月30日
水質環境基準の類型指定（羽咋川、若山川）

昭和51年４月１日
公害環境部を環境部と改称
昭和51年４月１日
大気監視センターを衛生公害研究所に吸収
昭和51年４月９日
農用地土壌汚染対策地域を追加指定
昭和51年４月26日
小松基地騒音防止対策協議会発足
昭和51年５月１日
騒音規制地域を指定（山中町、辰口町、川北町、美川町、鶴来町、志雄町、押水町、鹿島町、鹿西町、鳥屋町、田鶴浜町、中島町、能登島町）
昭和51年５月１日
悪臭規制地域を指定（内灘町、野々市町、美

川町、鶴来町）
昭和51年５月１日
国、県、関係市町村の三者共同による小松基地周辺の騒音常時測定開始
昭和51年７月６日
排水基準を定める条例の一部改正（加賀沿岸海域を追加）
昭和51年10月８日
県自然環境保全地域を指定（杉ノ水、打呂、菊水）

昭和52年４月１日
石川県し尿浄化槽指導要綱を施行
昭和52年４月15日
水質環境基準の類型指定（町野川、米町川、河北潟、河北沿岸海域、能登半島沿岸海域）
昭和52年５月１日
騒音規制地域を指定（富来町、穴水町、門前町、能都町、柳田村、内浦町）
昭和52年５月１日
悪臭規制地域を指定（津幡町、高松町、七塚町、宇ノ気町）
昭和52年６月10日
排水基準を定める条例の一部改正（河北潟、河北沿岸海域を追加）
昭和52年６月27日
梯川流域地域農用地土壌汚染対策計画策定
昭和52年７月25日
梯川流域の農用地土壌汚染対策事業に係る費用負担計画策定
昭和53年３月31日
県自然環境保全地域を指定（犀川源流、唐島観音下）
昭和53年３月31日
水質環境基準の類型指定（金沢沿岸海域）
昭和53年３月31日
梯川流域汚染防止対策室を廃止

昭和53年５月１日
振動規制地域を指定（金沢市、七尾市、小松市、加賀市）
昭和53年７月７日
排水基準を定める条例の一部改正（金沢沿岸海域を追加）
昭和53年10月12日
農用地土壌汚染対策地域を追加指定
昭和53年12月28日
防衛施設庁は小松基地周辺について住宅防音工事助成区域である第一種区域（85WECPNL）を指定告示
昭和54年２月13日
石川県環境管理基本計画の公表

昭和54年５月１日
振動規制地域を指定（羽咋市、山中町、根上町、寺井町、辰口町、川北町、美川町、鶴来町、野々市町）
昭和54年６月20日
梯川流域農用地土壌汚染対策計画を変更
昭和54年７月５日
梯川流域の農用地土壌汚染対策事業に係る費用負担計画を変更
昭和54年７月６日
排水基準を定める条例の一部改正（旅館業等の施設を追加）
昭和54年７月７日
金沢市内に光化学スモッグ注意報が、小松市内に同予報が初めて発令
昭和54年12月15日
梯川流域２号対策地域等の産米調査結果を発表（１ppmを超える高濃度のカドミウムを検出）
昭和55年２月27日
梯川流域汚染防止対策室を設置

昭和55年４月１日
企画調整課を環境調整課に、規制指導課を公害規制課に、環境保全課を自然保護課に各々改称
昭和55年５月１日
振動規制地域を指定（津幡町、高松町、七塚町、宇ノ気町、内灘町、志賀町、志雄町、押水町、鳥屋町、鹿島町、鹿西町）
昭和55年５月11日
県白山自然保護センターでは、天然記念物イヌワシの営巣を吉野谷村地内で発見し、幼鳥の巣立ちまでの約20日間の観察に成功
昭和55年７月４日
梯川流域の農用地土壌汚染見直し細密調査開始

昭和55年７月11日
北陸電力（株）が尾口村の尾添発電所建設計画に係る環境影響調査書を県に提示（５月９日）、県自然環境保全審議会は、この建設計画の環境保全に対する基本的な考え方が妥当である旨答申（電調審通過：７月30日）
昭和55年９月10日
防衛施設庁、小松基地に関し第一種区域（80WECPNL）の追加指定告示
昭和55年９月21日～10月21日
県では「美しい県土を守る運動推進月間」を設定し、重点目標として、空き缶等散在性廃棄物に対する啓発、し尿浄化槽の適正な維持管理の徹底、有リン合成洗剤の使用自粛の呼びかけを実施
昭和55年10月28日
鈴ヶ岳自然環境保全地域を指定
昭和55年12月15日
（社）石川県浄化槽協会（厚生大臣指定検査機関）、公共機関及び51人槽以上の浄化槽を対象に定期検査業務を開始

昭和56年４月１日
夕日寺健民自然園を開園
昭和56年４月16日
農用地土壌汚染対策地域を追加指定
昭和56年４月24日
振動規制地域を指定（輪島市、珠洲市、松任市、富来町、田鶴浜町、中島町、能登島町、穴水町、門前町、能都町、柳田村、内浦町）
昭和56年５月１日
悪臭規制地域を指定（富来町、志雄町、志賀町、押水町）
昭和56年７月３日
排水基準を定める条例の一部改正（病院、一般廃棄物処理施設を追加）
昭和56年12月１日
石川県公害防止条例を一部改正（深夜営業騒音等の規制）
昭和56年12月８日
ブナオ山観察舎が開館
昭和57年３月18日
農用地土壌汚染対策地域を追加指定

昭和57年４月１日
環境調整課と公害規制課を統合し、環境管理課が発足
昭和57年４月６日
悪臭規制地域を指定（田鶴浜町、鳥屋町、中島町、鹿島町、能登島町、鹿西町）
昭和57年６月10日
北陸電力（株）が七尾大田火力発電所建設計画に係る環境影響調査書を石川県など関係機関に提出（２月18日）、県は県公害対策審議会に対し、同発電所の環境保全対策について諮問（３月25日）、県公害対策審議会は概ね妥当なものと認められる旨答申（電調審通過：７月９日）
昭和57年６月27日
防衛施設庁は小松基地に関し第一種区域（75WECPNL）の追加指定告示
昭和58年２月８日
県、北陸電力（株）及び日本海液化ガス（株）との間で、七尾大田火力発電所等に係る公害等の防止に関する基本協定及び細目協定締結
昭和58年２月24日
日本鉄道建設公団が北陸新幹線環境影響評価報告書案を県に提示（57年12月６日）、県は県公害対策審議会に対し同新幹線に係る環境保全対策について諮問（１月25日）、県公害対策審議会はおおむね妥当なものと認められる旨答申（２月22日）、同報告書案に関する知事意見書を日本鉄道建設公団に提出
昭和58年３月４日
小松、加賀両市と根上、寺井両町の住民318名、「ファントム戦闘機離陸等差し止め等請求訴訟」第二次訴訟提訴
昭和58年３月10日
農用地土壌汚染対策地域追加指定、一部指定解除

昭和58年５月１日
悪臭規制地域を指定（輪島市、穴水町）
昭和58年５月７日
金沢市普正寺町に石川県野鳥園開園
昭和58年７月２日
石川郡吉野谷村木滑に白山自然保護センター新庁舎開館
昭和58年７月12日
排水基準を定める条例の一部改正（羽咋川、

米町川、河原田川を追加）
昭和58年９月21日、22日
第４回快適環境シンポジウムを金沢市文化ホールで開催(環境庁、石川県、金沢市、(財)日本環境協会の共催)
昭和58年11月23日
夕日寺健民自然園に化石の広場開設
昭和58年12月１日
スパイクタイヤ使用自粛推進要綱を制定し、同日より施行
昭和59年１月14日
梯川流域地域農用地土壌汚染対策計画を変更
昭和59年１月21日
梯川流域に農用地土壌汚染対策事業に係る費用負担計画を変更
昭和59年３月14日
農用地土壌汚染対策地域の一部指定解除

昭和59年４月２日
傷病鳥救護事業の開始
昭和59年５月１日
悪臭規制地域を指定（珠洲市、能都町）
昭和59年７月３日
石川県公害紛争処理等に関する条例の一部を改正（申請手数料の引き上げ）
昭和59年10月５日
白山室堂に白山荘完成
昭和59年12月７日
尾小屋鉱山鉱害防止事業（鉱害防止義務者不存在のもの）完了
昭和59年12月20日
防衛施設庁は小松基地に関し、第１種区域等の変更指定告示
昭和60年２月15日
石川県公害防止条例施行規則を一部改正（騒音の決定方法）
昭和60年３月８日
農用地土壌汚染対策地域の一部指定解除

昭和60年５月１日
悪臭規制地域を指定（山中町、辰口町、川北町、内浦町）
昭和60年５月１日
騒音・振動指定地域の一部改正（寺井町）
昭和60年10月１日
石川県浄化槽保守点検業者の登録に関する条例を施行
昭和60年10月１日
石川県浄化槽保守点検業者の登録に関する条例施行規制を施行
昭和60年10月１日
排水基準を定める条例の一部改正（町野川、若山川、能登半島沿岸海域を追加）
昭和60年10月16日
昭和60年度「くらしの中の水」シンポジウムを金沢市で開催
昭和60年12月13日
石川県公害紛争処理等に関する条例の一部を改正（規定の整理）
昭和61年１月12日
石川県公害防止条例の一部を改正（水質審議会を公害対策審議会に統合）
昭和61年１月12日
石川県公害対策審議会規則の一部を改正
昭和61年３月27日
農用地土壌汚染対策地域の一部指定解除

昭和61年５月１日
悪臭規制地域を指定（門前町、柳田村）
昭和61年５月１日
騒音・振動指定地域の一部改正（小松市、松任市、根上町）
昭和61年５月21日
「小松基地周辺の生活環境保全対策」と財政措置の強化に関する要望書、国へ提出
昭和61年７月12日
白山国立公園市ノ瀬野営場開場
昭和61年10月23日
昭和61年度「くらしの中の水」シンポジウムを七尾市で開催
昭和61年11月19日
北陸電力（株）が能登原子力発電所（１号機）建設計画に係る環境影響調査書を提出（６月16日)、県は県公害対策審議会に対し、同発電所の環境保全対策について諮問（７月21日)、県公害対策審議会は安全確保対策についての意見具申書を添付し、概ね妥当である旨答申（電調審通過12月18日）
昭和62年１月４日
河北潟野鳥観察舎が開館

昭和62年３月23日
農用地土壌汚染対策地域の一部指定解除
昭和62年３月31日
全窒素、全燐に係る水質環境基準の類型指定（河北潟）

昭和62年５月１日
悪臭規制地域・規制基準の一部改正（金沢市、野々市町、内灘町）
昭和62年５月１日
騒音・振動指定地域の一部改正（金沢市、野々市町、内灘町、津幡町）
昭和62年７月１日
排水基準を定める条例の一部改正（冷凍調理食品製造業、地方卸売市場等の施設を追加）
昭和62年７月10日
北陸電力（株）が七尾大田火力発電所の建設計画の変更及び環境調査の実施を石川県など関係機関へ申し入れ
昭和62年７月18日
白山国立公園指定25周年記念事業としてシンボルマーク制定
昭和62年８月８日
加賀禅定道を復元し、一般供用開始
昭和62年９月29日
第10回リモートセンシングシンポジウムを金沢市で開催（科学技術庁、宇宙開発事業団、（社）経済団体連合会、（財）リモートセンシング技術センター、石川県の共催）
昭和62年10月23日
昭和62年度「くらしの中の水」シンポジウムを加賀市で開催
昭和62年10月27日
第３回日仏アメニティ会議の地方会議を金沢市で開催
昭和62年11月17日
第６回道路粉じん問題行政連絡会議を金沢市で開催
昭和62年11月21日
能登原子力発電所建設準備工事に係る環境保全等に関する協定書を県、志賀町、富来町及び北陸電力（株）との間で締結
昭和62年11月25日
北陸電力（株）が能登原子力発電所の準備工事に着手
昭和62年12月15日
日本鉄道建設公団が北陸新幹線環境影響評価報告書案を提示（10月７日）、県は県公害対策審議会に対し同新幹線に係る環境保全対策について諮問（10月27日）、県公害対策審議会は概ね妥当なものと認められる旨答申（12月14日）、同報告書案に関する知事意見書を日本鉄道建設公団に提出
昭和63年１月10日
健民海浜公園野鳥の森開設
昭和63年３月25日
農用地土壌汚染対策地域の一部指定解除
昭和63年３月29日
全窒素、全燐に係る水質環境基準の類型指定（柴山潟、北潟湖）

昭和63年４月１日
騒音に係る環境基準の類型指定（金沢市、野々市町、内灘町）
昭和63年５月１日
騒音・振動指定地域の一部改正（羽咋市）
昭和63年７月10日
石川県環境美化県民大会を内浦町で開催
昭和63年７月23日、24日
第30回　自然公園大会を内浦町で開催
昭和63年11月27日
県は公害対策審議会に対し、志賀原子力発電所周辺の安全確保及び環境保全に関する協定書案について説明、県公害対策審議会は運用に当たっての意見を添付し、妥当なものと建議
昭和63年12月１日
志賀原子力発電所周辺の安全確保及び環境保全に関する協定書（以下「安全協定」という。）を県、志賀町、富来町及び北陸電力（株）との間で締結
昭和63年12月１日
志賀原子力発電所建設工事に係る環境保全等に関する協定書を県、志賀町、富来町及び北陸電力（株）との間で締結。北陸電力（株）が志賀原子力発電所の建設工事に着工
平成元年３月31日
梯川流域汚染防止対策室を廃止

平成元年４月１日

原子力安全対策室を設置
平成元年４月９日
夕日寺健民自然園ふれあいセンターが開館
平成元年７月15日
ゴルフ場農薬等安全使用指導要綱の施行
平成元年７月21日
加賀禅定道、奥長倉に避難小屋完成
平成元年８月20日
自然に親しむつどいを白峰村で開催
平成元年９月29日、30日
「環日本海域における酸性雨・雪」シンポジウムを金沢市で開催（文部省国際学術研究班主催、石川県環境部協賛）
平成元年10月１日
水質汚濁防止法改正（地下水汚染の未然防止）
平成元年11月24日
志賀原子力発電所建設工事に日本工業規格不適合の建設資材が使用された件について、県、志賀町及び富来町が安全協定に基づく立入調査を実施
平成元年11月30日
つるぎ国民休養ビジターセンターが、獅子吼高原（鶴来町）レストハウス内に完成
平成２年２月１日
石川県土地対策指導要綱の一部改正に伴い石川県ゴルフ場環境影響調査実施要領を施行
平成２年２月16日
石川県原子力環境安全管理協議会を設置し同協議会に石川県環境放射線測定技術委員会及び石川県温排水影響検討委員会を設置

平成２年４月１日
志賀町監視センター開設
平成２年４月28日、29日
第３回巨木を語ろう全国フォーラムを加賀市で開催
平成２年５月12日、13日
第44回愛鳥週間「全国野鳥保護のつどい」を金沢市で開催
平成２年５月31日
北陸電力（株）が七尾大田火力発電所（１号機）一部計画変更に伴う環境影響調査書を石川県など関係機関に提出(平成元年12月６日)、県は県公害対策審議会に対し同発電所の環境保全対策について諮問（平成２年２月２日)、県公害対策審議会はおおむね妥当なものと認める旨答申（電調審通過：７月23日）
平成２年７月１日
いしかわかんきょうフェアを開催
平成２年７月１日
志賀原子力発電所周辺の環境放射線監視及び温排水影響調査を開始
平成２年８月１日
石川県ゴルフ場農薬等安全使用指導要綱の改正・施行
平成２年８月５日
第２回自然に親しむつどいを羽咋市で開催
平成２年９月30日
酸性雨・雪セミナー「酸性雨・雪問題を理解するために」を金沢市で開催（文部省国際学術研究班主催、石川県環境部共催）
平成２年10月１日、２日
第２回国際学術研究公開シンポジウム「環日本海における酸性雨・雪」を金沢市で開催(文部省国際学術研究平井班主催、石川県環境部後援)
平成２年10月30日
第１回全国酸性雨調査研究連絡会議を金沢市で開催
平成２年10月31日～11月２日
第31回大気汚染学会を金沢市で開催（主催（社）大気汚染研究協会、石川県、金沢市）
平成２年12月18日
七尾大田火力発電所周辺の環境の保全に関する協定書を、県、七尾市及び北陸電力（株）との間で締結
平成３年３月13日
小松基地騒音差止等請求事件判決が言い渡される

平成３年５月31日、６月６日
北陸電力（株）が志賀原子力発電所初装荷燃料（計374体）搬入
平成３年７月１日
いしかわ・かんきょうフェアを開催
平成３年８月25日
第３回自然に親しむつどいを小松市で開催
平成３年11月27日
エコビジネス懇話会を設置
平成３年12月１日

環境政策室を設置
平成４年２月28日
志賀原子力発電所の高燃焼度燃料の採用について、通商産業省の安全審査結果及び原子力環境安全管理協議会の審議（４年２月18日）を踏まえ、事前了解を回答

平成４年６月９日
原子力防災訓練を実施
平成４年５月10日
国設白山鳥獣保護区管理センター開所式
平成４年６月29日
日本鉄道建設公団が、北陸新幹線の計画路線の一部変更（富山県境～金沢駅）に伴い、環境影響評価報告書案を県に提示（平成４年４月30日）、県は公害対策審議会に対し、同新幹線に係る環境保全対策について諮問（５月22日）、県公害対策審議会はおおむね妥当なものと認められる旨答申（６月24日）、県は同報告書案に関する知事意見書を日本鉄道建設公団に提出
平成４年７月４日、５日
いしかわ・かんきょうフェアを開催
平成４年７月10日
中宮温泉集団施設地区野営場がオープン
平成４年７月23日
白山国立公園指定30周年記念講演会を開催
平成４年８月23日
第４回自然に親しむつどいを珠洲市で開催
平成４年10月９日
地球サミットセミナーINいしかわを金沢市で開催
平成４年12月16日
のと海洋ふれあいセンター建設工事起工式
平成５年３月31日
環境政策室を廃止

平成５年４月１日
環境部に環境政策課、環境整備課を設置
平成５年５月11日
木場潟流域を水質汚濁防止法による生活排水対策重点地域に指定
平成５年５月24日
北陸電力（株）が県、志賀町、富来町に志賀原子力発電所２号機に係る建設及び環境調査を申し入れ
平成５年６月10日
片野鴨池がラムサール条約による登録湿地として登録
平成５年７月16日
上乗せ排水基準を定める条例を一部改正（共同調理場のちゅう房施設等を規制対象に追加）
平成５年７月30日
志賀原子力発電所１号機が営業運転開始
平成５年８月22日
第５回自然に親しむつどいを金沢市で開催
平成５年９月27日
「いしかわの自然百景」の選定
平成５年10月９日、10日
いしかわ・かんきょうフェアを開催
平成５年11月１日
片野鴨池を国設鳥獣保護区に設定
平成５年11月５日
石川県廃棄物適正処理指導要綱を公布
平成６年３月10日
夕日寺健民自然園にトンボサンクチュアリー完成
平成６年３月
「いしかわクリーン・リサイクル推進計画」策定

平成６年４月19日
のと海洋ふれあいセンター開館
平成６年５月20日
北陸電力（株）が七尾大田火力発電所（２号機）環境影響調査書を提出（５年12月９日）、県は県公害対策審議会に対し同発電所の環境保全対策について諮問（６年２月18日）、県公害対策審議会はおおむね妥当なものと認める旨答申（電調審通過：７月15日）
平成６年７月１日
片野鴨池健民自然園開設
平成６年７月６日
原子力防災訓練を実施
平成６年７月11日
産業廃棄物不法処理連絡協議会発足
平成６年８月20日、21日
いしかわ・かんきょうフェアを開催
平成６年８月21日

第６回自然に親しむつどいを内浦町で開催
平成６年８月26日
志賀原子力発電所１号機は原子炉冷却材再循環ポンプ（B）が自動停止したため、原子炉を手動停止。北陸電力（株）では、復旧及び再発防止策工事を実施した後、９月８日から運転を再開
平成６年９月１日
石川県環境審議会発足
平成６年９月12日
中央環境審議会企画政策部会北陸ブロックヒアリング開催
平成６年９月26日
環境行政のあり方懇談会発足
平成６年10月１日
廃棄物処理センター設立準備室を設置
平成６年12月１日
七尾大田火力発電所の運転に係る環境の保全に関する細目協定書を改定
平成７年３月14日
七尾南湾流域、河北潟流域、柴山潟流域を生活排水対策重点地域に指定
平成７年３月17日
七尾大田火力発電所１号機運転開始

平成７年７月１日
石川県環境影響評価技術審査会設置
平成７年７月１日
木ノ浦野営場のオープン
平成７年８月20日
第７回自然に親しむつどいを山中町で開催
平成７年９月28日
「白山緑のダイヤモンド計画推進事業」の整備に着手
平成７年10月１日
「石川県環境影響評価要綱」施行
平成７年10月６日
「石川県環境基本条例」公布、施行
平成７年10月21日、22日
いしかわ・かんきょうフェアを開催
平成７年11月27日
北陸電力（株）が志賀原子力発電所２号機建設に係る環境影響評価準備書を提出し、県環境影響評価技術審査会で準備書の内容を審査し、概ね妥当である旨答申（平成９年１月22日）。技術審査会の意見と関係市町長意見を踏まえ、概ね妥当との環境保全上の知事意見を北陸電力（株）に平成９年２月17日に交付（電調審通過：３月27日）
平成７年12月３日
九十九湾でジュズサンゴ群集の発見
平成８年２月17日
原子力発電所の耐震安全性に係る県民説明会開催
平成８年３月29日
医王山県立自然公園の指定

平成８年４月１日
環境部を環境安全部に改称
平成８年５月14日
志賀原子力発電所１号機は３月頃から原子炉冷却材再循環ポンプの軸封部のシール水出口流量の漸減の傾向等が認められたため原子炉を手動停止。北陸電力（株）では、復旧及び再発防止対策工事を実施した後、５月24日から運転を再開
平成８年８月18日
第８回自然に親しむつどいを富来町で開催
平成８年８月24日、25日
いしかわ・かんきょうフェアを開催
平成８年11月19日
中国江蘇省南京市において石川県・江蘇省環境保全技術シンポジウムを開催
平成８年12月
「石川県分別収集促進計画」策定
平成９年１月８日
１月２日に発生したロシアタンカー沈没・油流出事故による重油が加賀市片野海岸に漂着。その後県内７市11町の沿岸に漂着
平成９年２月21日
「石川県環境基本計画」策定
平成９年３月31日
「第５次石川県産業廃棄物処理計画」策定

平成９年５月13日
いしかわ環境パートナーシップ県民会議設立
平成９年８月10日
第９回自然に親しむつどいを尾口村で開催
平成９年８月26日、27日
中国江蘇省南京市において石川県・江蘇省環

境教育研究会を開催
平成９年10月４日、５日
いしかわ・かんきょうフェアを開催
平成９年10月25日
白山シンポジウム「白山の野生動物保護の未来を語る」を尾口村で開催
平成９年11月27日、28日
中国江蘇省無錫市において第１回生活排水対策技術検討会を開催
平成10年１月10日
志賀原子力発電所１号機は復水器細管漏えいに伴い、原子炉を手動停止（３月20日運転を再開）
平成10年１月24日
生物多様性シンポジウム・イン石川を開催
平成10年３月17日、18日
中国江蘇省南京市において第２回生活排水対策技術検討会を開催
平成10年３月
「石川県地球温暖化防止地域推進行動計画」策定
平成10年３月
「リサイクル型社会構築行動計画」策定

平成10年４月７日
リサイクル推進室を設置
平成10年８月９日
第10回自然に親しむつどいを輪島市で開催
平成10年８月22日、23日
いしかわクールアースフェアを開催（いしかわ環境パートナーシップ県民会議主催、石川県後援）
平成10年８月28日
志賀原子力発電所２号機準備工事に係る環境保全等に関する協定書を県、志賀町、富来町及び北陸電力（株）との間で締結。北陸電力（株）は９月１日より工事着手
平成10年９月12日～14日
国際海洋年記念フォーラム・イン石川を内浦町で開催
平成10年９月
「石川県リサイクル製品認定制度」創設
平成10年10月20日、21日
第２回石川県・江蘇省環境教育研究会を金沢市で開催
平成10年10月20日
第３回生活排水対策技術検討会を金沢市で開催
平成11年３月
「石川県ごみ処理の広域化計画」を策定
平成11年３月２日
中国江蘇省南京市において第４回生活排水対策技術検討会を開催
平成11年３月19日
「石川県環境影響評価条例」公布

平成11年４月１日
廃棄物処理センター設立準備室を産業廃棄物処理対策室に改称
平成11年４月１日
騒音に係る環境基準の類型指定の改正（金沢市、野々市町、内灘町）
平成11年５月１日
騒音、振動指定地域の一部改正（小松市、輪島市、羽咋市、松任市、根上町、川北町、美川町、野々市町、内灘町、志雄町、能都町）
平成11年６月14日
定期検査中の志賀原子力発電所１号機において、非常用ディーゼル発電設備B号機のディーゼルエンジンクランク軸にひびを確認。７月23日運転を再開
平成11年８月３日
志賀原子力発電所２号機増設について石川県原子力環境安全管理協議会における審議を踏まえ、了解
平成11年８月26日
志賀原子力発電所２号機建設工事に係る環境保全等に関する協定書を県、志賀町、富来町及び北陸電力（株）と締結。北陸電力（株）は、国の工事計画認可を得て、９月２日建設工事に着工
平成11年９月30日
石川県野鳥園を廃止
平成11年９月30日
茨城県東海村の（株）ジェー・シー・オー・ウラン燃料加工工場で臨界事故が発生。県では、この事故を受け、環境放射線観測局の増設及びオフサイトセンターの建設等、放射線監視及び原子力防災を更に強化
平成11年10月16日、17日

いしかわクールアースフェアを開催（いしかわ環境パートナーシップ県民会議主催、石川県後援）
平成11年11月22日
国際環境保全技術検討会を金沢市で開催
平成12年３月
「環境にやさしい石川創造計画」を策定

平成12年４月１日
リサイクル推進室をグリーン化推進室に改称
産業廃棄物処理対策室を廃棄物処理対策事業推進室に改称
平成12年５月20日
医王山ビジターセンター（金沢市）オープン
平成12年５月28日
中宮展示館（吉野谷村）リニューアルオープン
平成12年６月28日
白山国立公園センター（白峰村）オープン
平成12年８月19日、20日
いしかわ・かんきょうフェアを開催（いしかわ環境パートナーシップ県民会議主催、石川県後援）
平成12年11月10日～12日
環境教育ミーティング中部2000inいしかわ白峰村で開催
平成12年12月22日
志賀原子力発電所１号機の「９×９燃料の採用」等の原子炉施設の変更について石川県原子力環境安全管理協議会における審議を踏まえ、了解
平成13年３月１日
騒音に係る環境基準の類型指定の改正（七尾市、小松市、加賀市、羽咋市、松任市、山中町、寺井町、川北町、美川町、鶴来町、津幡町、富来町、志雄町、志賀町、押水町、鳥屋町、中島町、能都町、柳田村）

平成13年４月１日
騒音、振動指定地域の一部改正（七尾市、加賀市、寺井町、鶴来町、津幡町、富来町、志賀町、押水町、鳥屋町、中島町、柳田村）
「社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議」を設立するとともに、環境保全活動の拠点となる「県民エコステーション」を開設
平成13年４月２日
いしかわ自然学校を本格開校し、県民エコステーションに事務局を設置
平成13年８月25日、26日
いしかわ環境フェア2001を開催（社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議主催、石川県後援）
平成13年10月23日
江蘇省から環境保全の訪問団を招聘し、第１回日中環境保全技術検討会を開催
平成14年１月９日
「石川県志賀オフサイトセンター」が、国からオフサイトセンターとして指定
平成14年３月１日
騒音に係る環境基準の類型指定（輪島市、珠洲市、根上町、辰口町、高松町、七塚町、宇ノ気町、田鶴浜町、鹿島町、能登島町、鹿西町、穴水町、門前町、内浦町）、類型指定の改正（金沢市、野々市町）
平成14年３月16日
特定鳥獣保護管理計画の策定
平成14年３月29日
「石川県ゼロエミッション行動計画」を策定（３月25日石川県環境審議会から答申）

平成14年４月１日
騒音、振動指定地域の一部改正（金沢市、輪島市、珠洲市、根上町、辰口町、野々市町、高松町、宇ノ気町、田鶴浜町、鹿島町、能登島町、鹿西町、穴水町、門前町、内浦町）
産業廃棄物の監視指導体制の充実（県内の産業廃棄物の排出事業者、処理事業者等に対して監視指導等を行い適正処理の推進を図るため、能登中部保健福祉センター及び南加賀保健福祉センターに「産業廃棄物監視機動班」を配置）
平成14年４月２日
定期検査中の志賀原子力発電所１号機において、調整運転段階で原子炉冷却材再循環ポンプA号機の軸振動値に変動が認められたため、４月２日念のため原子炉を停止し、点検を実施
平成14年４月21日
里山保全ワーキングホリデイを推進するため、奥卯辰山健民公園、夕日寺健民自然園等

において里山フェスティバルを開催。ゲストに今森光彦氏を迎え、金沢大学林学長、谷本知事も出席

平成14年６月26日
江蘇省から環境保全の訪問団を招聘し、第２回日中環境保全技術検討会を開催

平成14年７月１日
「社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議」を「石川県地球温暖化防止活動推進センター」に指定

平成14年８月３日
白山緑のダイヤモンド計画で改修整備を進めていた白山室堂センターをはじめとする、室堂地区の施設がリニューアルオープンしたことにより、「白山国立公園指定40周年・室堂リニューアルオープン記念式典」を室堂で開催。谷本知事も出席

平成14年８月25日、26日
いしかわ環境フェア2002を開催（社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議主催、石川県後援）

平成14年９月11日～平成15年11月27日
石川県環境審議会において、環境総合条例（仮称）の在り方について審議
（諮問　平成14年９月11日、答申　平成15年12月15日）

※「環境総合条例（仮称）」は「ふるさと石川の環境を守り育てる条例」として平成16年４月１日に施行

【審議経過】

平成14年９月11日	石川県環境審議会総会
平成14年10月10日	石川県環境審議会企画部会
平成14年10月16日	石川県環境審議会企画部会専門委員会（第１回）
平成14年11月12日	同　（第２回）
平成14年12月14日	環境総合条例（仮称）策定のためのワークショップを開催（県主催）
平成14年12月18日～平成15年６月11日	石川県環境審議会企画部会専門委員会（第３回～第９回）
平成15年７月17日	石川県環境審議会企画部会
平成15年７月28日	石川県環境審議会総会
平成15年８月１日	「中間とりまとめ」を公表
平成15年８月13日～９月16日	「中間とりまとめ」に関するパブリックコメントの募集
平成15年８月20日～８月26日	県内４箇所においてタウンミーティングを開催
平成15年10月７日	石川県環境審議会企画部会専門委員会（第10回）
平成15年10月29日	石川県環境審議会企画部会
平成15年11月27日	石川県環境審議会総会
平成15年12月15日	環境審議会から知事に答申

平成15年３月10日
内灘町以北の24市町村を広域エリアとして平成12年５月に設立した「石川北部アール・ディ・エフ広域処理組合」が県の協力のもと建設を進めてきた「石川北部RDFセンター」が完成し本格稼動を開始

平成15年３月31日
グリーン化推進室を廃止
廃棄物処理対策事業推進室を廃止

平成15年４月１日
組織の変更　環境整備課→廃棄物対策課
資源循環推進室の創設、水環境創造室の創設
石川中央保健福祉センターに産業廃棄物監視機動班を配置

平成15年５月14日
産業廃棄物の不法投棄、不適正処理に対する初動体制の迅速化を図るため、産業廃棄物処理施設への立入検査権限を市町村職員にも与える県職員併任制度をスタート

平成15年６月１日

いしかわ自然学校インストラクタースクール開校

平成15年７月17日
志賀原子力発電所における県・地元町への連絡基準に係る覚書を県、志賀町、富来町及び北陸電力（株）との間で締結

平成15年８月30日、31日
いしかわ環境フェア2003を開催（社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議主催、石川県後援）

平成15年10月15日
石川北部RDFセンターのNo. ２RDF貯蔵サイロで異常発熱事故が発生。一旦、サイロ内のRDFを全て払出した後、安全対策を講じ、12月22日から貯蔵サイロにRDFの投入を再開

平成15年10月17日
日中平和友好条約締結25周年記念事業の一環として、石川県―江蘇省環境教育シンポジウムを中国江蘇省南京市において開催

平成15年11月１日
七ツ島を国が鳥獣保護区特別保護地区に指定

平成15年12月17日～平成16年３月24日
今後のRDF化事業全体の安全対策を改めて確立するため、昨年12月に石川北部RDF広域処理組合と共同して、大学や国の研究機関、行政機関等のメンバーで構成する「RDF事故防止対策評価委員会」を立上げ、計４回の評価委員会を開催

平成16年２月４日
中国江蘇省、韓国全羅北道から環境保全の訪問団を招聘し、日中韓環境協力トライアングル事業を開催

平成16年２月18日
県庁舎において環境マネジメントシステム（ISO14001）を認証取得

平成16年３月１日
騒音に係る環境基準の類型指定の改正（小松市、松任市、美川町、野々市町、内灘町、鳥屋町）

平成16年３月23日
ふるさと石川の環境を守り育てる条例（石川県条例第16号）公布

平成16年４月１日
ふるさと石川の環境を守り育てる条例施行、同条例施行規則公布、施行

平成16年４月１日
騒音、振動指定地域の一部改正（小松市、松任市、美川町、野々市町、内灘町、鳥屋町）

平成16年４月１日
ゼロエミッション行動計画の具体的な施策を検討するなど、企画・立案部門検討する体制の強化を図るため、廃棄物対策課内の「一般廃棄物係」を「資源循環推進室」に統合

平成16年４月１日
能登北部保健福祉センターに産業廃棄物監視機動班を配置

平成16年５月17日
別当谷の土石流により、白山別当出合吊橋が流失

平成16年７月14日
のと海洋ふれあいセンター「海の体験館」開館

平成16年７月24日
白山別当出合吊橋開通

平成16年８月21日、22日
いしかわ環境フェア2004を開催（社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議主催、石川県後援）

平成16年９月～11月
津幡町以南の県南部地域に多数のツキノワグマが市街地集落に出没し、５月１日以降の捕獲数が166頭となる。12月１日から２月15日までツキノワグマの狩猟を禁止措置とした

平成16年９月～11月
金沢市西部クリーンセンター新工場の環境影響評価方法書について審査

平成16年９月29日、11月２日、12月２日
志賀原子力発電所２号機初装荷燃料（計888体）搬入

平成16年11月19日
中国江蘇省、韓国全羅北道から環境保全の訪問団を招聘し、日中韓環境協力トライアングル事業を開催

平成16年12月１日～平成17年３月16日
石川県環境審議会において、「石川県環境総合計画（案）」について審議
（諮問　平成17年12月１日、答申　平成17年３月22日）

※平成17年３月29日、「石川県環境総合計画」を

策定

【審議経過】
平成16年12月１日　石川県環境審議会総会
平成16年12月18日～12月24日
県内４箇所においてタウンミーティングを開催（県主催）
平成16年12月６日～12月28日
パブリックコメントの募集
平成17年１月28日　石川県環境審議会総会企画計画部会
平成17年２月28日　石川県環境審議会総会企画計画部会
平成17年３月16日　石川県環境審議会総会
平成17年３月22日　環境審議会から知事に答申

平成17年２月10日
石川県におけるダイオキシン・環境ホルモン等化学物質問題に係る取り組み方針の一部改正
平成17年３月11日
石川県大気汚染緊急時対策実施要綱を改正し、七尾市、羽咋郡以南の全市町を大気汚染緊急時の発令地とした
平成17年３月
七尾系大気監視測定局の接続をISDN回線に変更
平成17年３月31日
石川県指定希少野生動植物種として４種（トミヨ、イカリモンハンミョウ、シャープゲンゴロウモドキ、ウミミドリ）を指定（施行５月１日）

平成17年４月１日
水環境創造室を廃止し、浄化槽、下水道、集落排水の生活排水処理施設整備事業と水環境関連事業を一元管理するため、水環境創造課を設置
平成17年４月１日
志賀原子力発電所１号機は羽咋市内の地滑りによる送電線鉄塔倒壊のため原子炉を停止（４月22日運転を再開）
平成17年４月27日
北陸新幹線富山県境・金沢間のフル規格化、金沢・白山総合車両基地（仮称）間の工事認可
平成17年８月20日、21日
いしかわ環境フェア2005を開催（社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議主催、石川県後援）
平成17年10月～11月
金沢市新廃棄物埋立場建設事業に係る環境影響評価方法書について審査
平成17年10月18日
中国江蘇省、韓国全羅北道から環境保全の訪問団を招聘し、日中韓環境協力トライアングル事業を開催
平成17年11月30日
本庁舎の環境マネジメントシステム（ISO14001）の適用範囲に保健環境センター及び工業試験場を統合した認証更新を行い、一体的・効率的な運用を図ることとした
平成17年12月１日
ふるさと石川の環境を守り育てる条例を一部改正し、大気汚染防止法が適用されない小規模建築物の解体工事について規制
平成18年３月１日
大気汚染防止法が改正され、ふるさと環境条例の石綿粉じん排出等作業の届出が不要になり、大気汚染防止法で届出
平成18年３月15日
志賀原子力発電所２号機が営業運転開始
平成18年３月20日
「石川県ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理計画」を策定
平成18年３月22日
石川県指定希少野生動植物種として５種（チュウヒ、ホトケドジョウ、マルコガタノゲンゴロウ、オキナグサ、エチゼンダイモンジソウ）を指定。（施行５月１日）
平成18年３月27日
石綿による健康被害の救済に関する法律が施行され、既存の法律で救済されないアスベストの健康被害者の救済開始

平成18年４月１日
騒音に係る環境基準の類型指定の改正（金沢市、七尾市、白山市、津幡町、志賀町、宝達志水町）
平成18年４月１日
騒音、振動指定地域の一部改正（七尾市、白山市、津幡町、志賀町、宝達志水町）

平成18年４月１日
石川県大気汚染緊急時対策実施要綱を改正し、揮発性有機化合物排出施設を緊急時の協力対象とした
平成18年４月10日
資源循環推進室を廃止
平成18年４月11日
循環型社会推進室を創設
平成18年５月23日
中国江蘇省南京市において、江蘇省、韓国全羅北道との日中韓環境協力トライアングル事業を実施
平成18年７月５日
原子力安全・保安院からの指示によるタービン羽根点検のため志賀原子力発電所２号機原子炉停止（点検の結果、最終的に840枚のうち258枚にひび割れ等確認）
平成18年８月19、20日
いしかわ環境フェア2006を開催（社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議主催、石川県後援）
平成18年９月４日～10日
県民エコライフ大作戦（第１回）実施
平成18年10月５日
ツキノワグマ大量出没警戒情報を発表。５月１日以降12月末日までの出没情報件数は333件、捕獲数は78頭となる
平成18年10月～12月
小松市環境美化センター熱回収施設に係る環境影響方法書を審査
平成18年10月28日
日中韓環境教育シンポジウムを開催
平成18年11月７日
志賀原子力発電所１号機発電機付属設備への記録用紙吸い込みによる点検のため原子炉を停止。（11月22日運転を再開）
平成18年11月～平成19年３月
金沢市西部クリーンセンター新工場に係る環境影響準備書を審査
平成19年２月８日
環境連携活動交流フォーラムを開催
平成19年３月15日
平成11年第５回定期検査中に、志賀原子力発電所１号機において、制御棒引きぬけによる臨界事故が起きていたことが判明。国、県、志賀町は北陸電力（株）に対し直ちに、原子炉を停止し、徹底的な原因究明と抜本的な再発防止対策の策定を指示
平成19年３月25日
能登半島地震が発生。石川県災害対策本部設置。26日から災害廃棄物の分別・処理指導のため職員を現地に派遣。27日以降県内外の自治体、団体等からごみ収集車両の派遣や人的支援等があった

平成19年４月１日
環境安全部を環境部に改称
平成19年４月１日
騒音に係る環境基準の類型指定の改正（白山市、野々市町、中能登町）
平成19年４月１日
騒音、振動指定地域の一部改正（白山市、中能登町）
平成19年４月１日
悪臭規制地域の一部改正（宝達志水町）
平成19年４月２日
いしかわ環境情報交流サイトの運用を開始
平成19年４月25日
石川県能登半島地震復旧・復興本部会議を設置、本格的復興に取り組み始める
平成19年５月～９月
能登半島地震に伴い、輪島市、穴水町で大気調査
平成19年５月17日～22日
小松基地で最初の在日米軍再編に伴う訓練移転が実施される
平成19年５月21日
北陸電力（株）は臨界事故に対する28項目からなる再発防止対策の具体的な行動計画を策定
平成19年６月２日、３日
エコステーションまつりを開催（県民エコステーションまつり実行委員会主催、石川県共催）
平成19年６月27日
レジ袋削減協定を締結（12社、108店舗）
平成19年６月29日
北陸電力（株）は原子力本部を志賀町に、地域共生本部を金沢市に設置
平成19年７月６日
国は、能登半島地震での災害廃棄物の量を約

43万トンと推計、約39億円の災害等廃棄物処理事業費補助金を内示
平成19年８月～10月
能越自動車道（田鶴浜～七尾）に係る環境影響評価方法書を審査
平成19年８月25日、26日
いしかわ環境フェア2007を開催（社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議主催・石川県後援）
平成19年９月９日、23日、30日
エコドライブ教室を開催（主催：石川県　協力：東部自動車学校、加南自動車学校、七尾自動車学校）
平成19年９月10日～16日
県民エコライフ大作戦（第２回）を実施
平成19年９月25日
石川県指定希少野生動植物種として６種（コアジサシ、イソコモリグモ、サドクルマユリ、トキソウ、サギソウ、イソスミレ）を指定（施行11月１日）
平成19年10月26日
全国大気汚染防止連絡協議会第53回全国大会を開催
平成19年10月27日
夕日寺健民自然園にて里山ふるさと館オープン記念行事を開催。第４回いしかわ自然学校まつりも併催
平成19年11月18日
いしかわ自然学校が、全国初のネットワーク型の自然学校等として「第３回エコツーリズム大賞」優秀賞を受賞
平成19年12月７日
新幹線鉄道騒音に係る環境基準の類型を当てはめる地域を指定（金沢市、白山市、野々市町、津幡町）
平成19年12月～平成20年４月
（仮称）門前クリーンパーク建設事業に係る環境影響評価方法書を審査
平成20年１月
いしかわ事業者版環境ISO募集開始
平成20年３月14日
原子力安全・保安院は、臨界事故に係る再発防止対策の実施状況・内容が妥当と評価
北陸電力（株）は志賀原子力発電所２号機の再起動を申し入れ
平成20年３月21日
県は、志賀原子力発電所２号機の再起動を了承（３月26日運転を再開）
平成20年３月31日
能登半島地震被災自治体における災害等廃棄物処理事業完了
平成20年３月31日
循環型社会推進室を廃止

平成20年４月１日
地球温暖化対策室を創設
平成20年４月２日
志賀原子力発電所２号機気体廃棄物処理系で水素濃度が上昇したことから、原因調査のため、原子炉を停止（５月９日運転を再開）
平成20年５月１日
騒音に係る環境基準の類型指定の改正（小松市）
平成20年５月１日
騒音、振動指定地域の一部改正（小松市）
平成20年７月19日～21日
県民エコライフ大作戦オープニングイベントを実施（場所：県庁19階展望ロビー）
平成20年７月21日～８月20日
県民エコライフ大作戦（第３回）を実施
平成20年８月23日、24日
いしかわ環境フェア2008を開催（社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議主催、石川県後援）
平成20年９月21日、23日、10月19日
エコドライブ教室を開催（主催：石川県、協力：ドライビングスクール　エクシール城東、こまつ自動車学校、太陽自動車学校）
平成20年９月～12月
金沢市新廃棄物埋立場建設事業に係る環境影響準備書を審査
平成20年10月23日、25日、26日
いしかわ里山フェアを開催
平成20年11月27日
レジ袋削減協定を締結（コンビニエンスストア１社、76店舗）
平成20年11月～平成21年３月
小松市環境美化センター熱回収施設に係る環境影響評価準備書を審査
平成20年12月19日

本県がトキの分散飼育実施地に決定
平成21年２月17日
土壌汚染対策法第５条第1項に基づき、能美市湯谷町ホ18番１の一部ほかを指定区域に指定
平成21年３月13日
地域環境力向上フォーラムを開催（場所：県庁19階展望ロビー）
平成21年３月19日
北陸電力（株）は志賀原子力発電所１号機の再起動を申し入れ
平成21年３月27日
県は、志賀原子力発電所１号機の再起動を了承
平成21年３月27日
新たなレジ袋削減協定を締結（39社・組合、757店舗）
※平成21年６月１日から、食品スーパー、ドラッグストア、クリーニング店でレジ袋無料配布中止決定
平成21年３月30日
北陸電力（株）は志賀原子力発電所１号機の原子炉を起動

平成21年４月13日
志賀原子力発電所２号機の漏洩燃料特定作業に伴い原子炉の出力を降下（４月26日運転を再開）
平成21年８月22日、23日
第20回いしかわ環境フェアを開催（社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議主催、石川県後援）
平成21年９月27日、10月３日、12日
エコドライブ教室を開催（主催：石川県、協力：輪島綜合自動車学校、北陸中部自動車学校、大徳自動車学校）
平成21年11月13日
志賀原子力発電所２号機非常用ディーゼル発電機３台のうち２台から潤滑油の漏えいが確認されたことから保安規定に従い原子炉を停止。復旧後、平成22年１月28日に原子炉を起動
平成21年12月12日、13日
県民エコライフ大作戦オープニングイベントを実施（場所：県庁19階展望ロビー）
平成21年12月14日～平成22年１月13日
県民エコライフ大作戦（第４回）を実施
平成21年12月17日
トキ繁殖ケージ竣工式
平成22年１月８日
トキ２つがい４羽が佐渡トキ保護センターからいしかわ動物園に移送された
平成22年１月17日
トキ展示・映像コーナーオープンセレモニー
平成22年３月30日
志賀原子力発電所のタービン保管庫の設置について事前了解を回答

平成22年４月１日
水道用水供給事業の移管により、水道企業課を設置
平成22年４月６日
送水管耐震化推進室を設置
平成22年４月28日
「いしかわエコハウス」オープン
（社）いしかわ環境パートナーシップ県民会議が「いしかわエコハウス」に移転
平成22年５月１日
悪臭規制地域の一部改正（志賀町）
平成22年５月16日
第64回愛鳥週間「全国野鳥保護のつどい」を金沢市で開催
平成22年６月28日
北陸電力（株）は志賀原子力発電所１号機におけるウラン燃料のリサイクル（プルサーマル）について県・町へ事前協議の申し入れ
平成22年８月21日、22日
いしかわ環境フェア2010／いしかわの里山里海展を開催（社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議主催、石川県後援）
平成22年９月５日
「水環境フォーラム」を小松市木場潟公園で開催（主催：石川県、小松市）
平成22年10月９日、16日、17日、23日
エコドライブ教室を開催（主催：石川県、協力：加賀自動車学校、北鉄自動車学校、能登中央自動車学校、能登自動車学校）
平成22年11月～平成23年２月
能越自動車道（田鶴浜～七尾）環境影響評価準備書を審査
平成22年11月８日

スバールバルライチョウオス２羽が恩賜上野動物園からいしかわ動物園に移送。以後２月にメス２羽が、３月にオス２羽が移送される

平成22年11月13日、14日
「第11回ライチョウ会議石川大会」を金沢市で開催

平成22年11月17日～20日
県民エコライフ大作戦オープニングイベントを実施（場所：県庁19階展望ロビー）

平成22年11月22日～12月21日
県民エコライフ大作戦（第５回）を実施

平成22年12月２日
志賀原子力発電所１号機の原子炉冷却材再循環ポンプ軸封部取替のため原子炉を停止（12月12日運転を再開）

平成22年12月14日
志賀原子力発電所１号機制御棒水圧制御ユニットの点検を行うため原子炉を停止（12月23日運転を再開）

平成22年12月18日、19日
「国際生物多様性年クロージング・イベント」を金沢市で開催

平成22年12月23日、平成23年２月27日、３月27日
いしかわエコスタイル県民フォーラムを開催（計３回）

平成23年１月21日、２月14日、３月23日
企業エコ化促進セミナーを開催（計３回）

平成23年１月22日
志賀原子力発電所２号機原子炉格納容器内冷却器凝縮水量が低下したことから点検のため原子炉を停止（２月６日運転を再開）

平成23年３月１日
志賀原子力発電所１号機の原子炉冷却材再循環ポンプ軸封部取替のため原子炉を停止

平成23年３月11日
東北地方太平洋沖地震により東京電力（株）福島第一原子力発電所が被災

平成23年３月29日
「石川県生物多様性戦略ビジョン」を策定（３月29日石川県環境審議会自然共生部会から答申）

平成23年３月30日
原子力安全・保安院から電気事業者等に対し緊急安全対策の実施を指示

平成23年４月１日
里山創成室を設置し、自然保護課を自然環境課に改称

平成23年４月８日
北陸電力（株）は原子力安全・保安院に対し、津波に対する安全強化策を報告

平成23年４月24日
いしかわ動物園ライチョウ飼育展示施設オープンセレモニー

平成23年５月１日
騒音に係る環境基準の類型指定の改正（津幡町、中能登町）

平成23年５月１日
騒音、振動指定地域の一部改正（津幡町、中能登町）

平成23年５月１日
悪臭規制地域の一部改正（七尾市、津幡町）

平成23年５月12日
原子力安全・保安院は北陸電力（株）の緊急安全対策を妥当と判断

平成23年５月31日
いしかわ里山創成ファンドを創設

平成23年６月11日
GIAHS国際フォーラム（於：北京）において、羽咋市以北の４市４町が申請した「能登の里山里海」が世界農業遺産に認定

平成23年６月17日
「世界農業遺産オープニングイベント（GIAHSインセプションワークショップ）」を奥能登行政庁舎で開催
県、羽咋市以北の４市４町、関係団体とともに「世界農業遺産活用実行委員会」を設立

平成23年７月22日
原子力安全・保安院は電気事業者等に対し、安全性に関する総合評価（ストレステスト）を行うよう指示

平成23年８月20日、21日
いしかわ環境フェア2011／いしかわの里山里海展を開催（社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議・いしかわ里山づくり推進協議会主催、石川県後援）

平成23年９月６日
企業エコ化促進セミナーとして、国際シンポジウム「住宅の今後　更なる省エネ化への道」を開催（同セミナーは、記載のほか平成23年

８月20日、平成24年２月29日の計３回開催）
平成23年10月６日
平成23年度いしかわ里山創成ファンド事業採択決定
平成23年12月17日～19日
「国連生物多様性の10年」国際キックオフ・イベントを開催（金沢市）
平成24年２月１日
北陸電力（株）は志賀原子力発電所２号機の安全性に関する総合評価（一次評価）の結果を原子力安全・保安院に提出
平成24年３月11日
騒音、振動に係る指定地域、悪臭に係る規制地域の一部改正（白山市）
平成24年３月20日
佐渡・能登連携「世界農業遺産シンポジウム」を七尾市で開催（主催：世界農業遺産活用事行委員会）
平成24年３月26日
北陸電力（株）は志賀原子力発電所１号機の安全性に関する総合評価（一次評価）の結果を原子力安全・保安院に提出
平成24年３月30日
石川県指定希少野生動植物種として５種（ホクリクサンショウウオ、センダイハギ、ヒメヒゴタイ、イシモチソウ、トウカイコモウセンゴケ）を指定（施行５月１日）

平成24年４月１日
第２次地域主権一括法の施行に伴い、市域の騒音、振動に係る指定地域及び悪臭に係る規制地域を除外
平成24年４月１日
いしかわ住まいの省エネパスポート制度の運用を開始
平成24年５月９日
能登・佐渡里山里海連携会議を金沢市で開催（主催：世界農業遺産活用実行委員会）
平成24年５月26日
白山国立公園指定50周年及び50周年記念事業のキックオフイベントを関係４県で開催（白山市、白川村、勝山市、南砺市）
平成24年６月29日
省エネ・節電アクションプランキックオフイベントを実施（場所：県庁19階展望ロビー）
平成24年７月１日～９月30日
省エネ・節電アクションプランを実施
平成24年７月17日、18日
能登から農業者ら51名が佐渡市を訪問し、生物の多様性を育む農業国際会議に参加（主催：世界農業遺産活用実行委員会）
平成24年７月18日
原子力安全・保安院は敷地内破砕帯の追加調査計画の策定を北陸電力（株）に指示
平成24年７月25日
北陸電力（株）は敷地内破砕帯の追加調査計画を原子力安全・保安院に提出
平成24年８月10日
北陸電力（株）は敷地内破砕帯の追加調査を開始
平成24年８月25日、26日
いしかわ環境フェア2012／いしかわの里山里海展（社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議・いしかわの里山づくり推進協議会主催、石川県後援）、エコ住宅展を開催
平成24年11月10日
白山国立公園指定50周年記念式典を開催（白山市）
平成24年11月13日
日独環境ビジネスシンポジウム「省エネ建築の専門家から最先端技術を学ぶ」を開催
平成24年11月16日
能登の暮らしに息づく知恵や技術の継承に向け高校生による聞き書き調査に着手（主催：世界農業遺産活用実行委員会）
平成24年12月13日～15日
国内最大級の環境展示会「エコプロダクツ2012（東京都江東区有明）」に佐渡と共同出展（主催：世界農業遺産活用実行委員会）
平成25年３月15日
微小粒子状物質（PM2.5）に関する注意喚起情報の発表体制を整備し、運用を開始
平成25年３月20日
「世界農業遺産シンポジウム2013」を七尾市で開催（主催：世界農業遺産活用実行委員会）

平成25年５月29日～６月１日
世界農業遺産国際会議を七尾市で開催（主催：FAO、農林水産省、石川県、能登GIAHS推進協議会）

平成25年７月１日～９月30日
省エネ・節電アクションプランを実施
平成25年７月１日～９月30日
いしかわクールシェアを実施
平成25年７月６日
いしかわクールシェアキックオフイベントを実施（場所：香林坊アトリオステージ）
平成25年８月24日、25日
いしかわ環境フェア2013／いしかわの里山里海展2013／いしかわ近未来の環境技術展2013（社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議・いしかわの里山づくり推進協議会・石川県主催）
平成25年10月８日～11日
韓国全羅北道の二者により日中韓環境協力トライアングル事業を実施（金沢市）（中国江蘇省は不参加）
平成25年９月13日
SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク設立総会を開催し、谷本知事、西川福井県知事が共同代表に就任
平成25年10月16日
第２回能登・佐渡里山里海連携会議を佐渡市で開催（主催：世界農業遺産活用実行委員会、佐渡GIAHS推進会議）
平成25年12月９日
微小粒子状物質（PM2.5）に関する注意喚起情報の発表時間の見直し（午後からの活動に備えた判断を追加）
平成25年12月12日～14日
国内最大級の環境展示会「エコプロダクツ2013（東京都江東区有明）」に佐渡、静岡、熊本、大分と連携して出展
平成25年12月19日
北陸電力（株）は敷地内破砕帯に関する追加調査最終報告書を原子力規制委員会に提出
平成26年１月17日
トキ１つがい２羽が佐渡トキ保護センターからいしかわ動物園に移送された
平成26年２月26日
微小粒子状物質（PM2.5）に関する注意喚起情報の発表（輪島測定局で１日平均値77.3μg/m^3を観測）
平成26年４月８日
里山創成室を農林水産部に移管し（里山振興室）、地球温暖化対策室を温暖化・里山対策室に改称
平成26年７月１日～９月30日
省エネ・節電アクションプランを実施
平成26年７月１日～９月30日
いしかわクールシェアを実施
平成26年７月１日
いしかわクールシェアキックオフイベントを実施
（場所：香林坊大和正面）
平成26年８月12日
北陸電力（株）は、志賀原子力発電所２号機の新規制基準適合性に係る審査を受けるため、原子炉設置変更許可、工事計画認可及び保安規定変更認可を原子力規制委員会に申請
平成26年８月23日、24日
いしかわ環境フェア2014／いしかわの里山里海展2014／いしかわ近未来の環境技術展2014（公益社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議・いしかわの里山づくり推進協議会・石川県主催）
平成26年９月11日
石川県再生可能エネルギー推進計画を策定
平成26年10月29日～11月１日
韓国全羅北道との二者により日中韓環境協力トライアングル事業を実施（韓国全羅北道で開催）（中国江蘇省は不参加）
平成26年12月11日～13日
国内最大級の環境展示会「エコプロダクツ2014（東京都江東区有明）」に福井と連携して出展

平成27年５月～９月
門前クリーンパーク建設事業に係る環境影響評価準備書を審査
平成27年６月～９月
七尾大田火力発電所石炭灰処分場設置事業に係る環境影響評価方法書を審査
平成27年７月１日～９月30日
省エネ・節電アクションプランを実施
平成27年７月１日～９月30日
いしかわクールシェアを実施
平成27年７月４日

いしかわクールシェアキックオフイベントを実施（場所：金沢百番街）
平成27年７月13日、８月４日、９月８日
いしかわエコもの発信塾を開催
平成27年８月22日、23日
いしかわ環境フェア2015／いしかわ里山里海展2015／いしかわ近未来の環境技術展2015（公益社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議・いしかわの里山づくり推進協議会・石川県主催）
平成27年10月27日～10月30日
韓国全羅北道との二者により日中韓環境協力トライアングル事業を実施（石川県金沢市で開催）（中国江蘇省は不参加）
平成27年12月10日～12日
国内最大級の環境展示会「エコプロダクツ2015（東京都江東区有明）」に福井と連携して出展

平成28年７月１日～９月30日
省エネ・節電アクションプランを実施
平成28年７月１日～９月30日
いしかわクールシェアを実施
平成28年７月２日
いしかわクールシェアキックオフイベントを実施（場所：香林坊大和）
平成28年８月27日、28日
いしかわ環境フェア2016／いしかわ里山里海展2016／いしかわ近未来の環境技術展2016（公益社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議・いしかわの里山づくり推進協議会・石川県主催）
平成28年11月19日
いしかわ動物園トキ公開展示施設「トキ里山館」オープン記念式典
平成28年９月５日～９月８日
中国江蘇省南京市において江蘇省、韓国全羅北道との日中韓環境協力トライアングル事業を実施
平成28年11月20日～平成29年２月28日
いしかわウォームシェアを実施
平成28年11月20日
いしかわウォームシェアキックオフイベントを実施（場所：イオンモールかほく）
平成28年12月８日～10日
国内最大級の環境展示会「エコプロ2016（東京都江東区有明）」に福井と連携して出展
平成29年３月31日
水環境創造課を廃止

平成29年４月１日
環境部を生活環境部に改称
水道企業課を土木部に移管
県民文化局県民生活課を生活安全課に改称し生活環境部に移管
平成29年７月１日～９月30日
省エネ・節電アクションプランを実施
平成29年７月１日～９月30日
いしかわクールシェアを実施
平成29年７月１日
いしかわクールシェアキックオフイベントを実施（場所：香林坊大和）
平成29年８月19日、20日
いしかわ環境フェア2017／いしかわ里山里海展2017／いしかわ近未来の環境技術展2017（公益社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議・いしかわの里山づくり推進協議会・石川県主催）
平成29年10月24日～10月27日
韓国全羅北道において、江蘇省、韓国全羅北道との日中韓環境協力トライアングル事業を実施
平成29年11月１日～平成30年２月28日
いしかわウォームシェアを実施
平成29年11月３日
いしかわウォームシェアキックオフイベントを実施（場所：イオンモール新小松）
平成29年12月７日～９日
国内最大級の環境展示会「エコプロ2017東京都江東区有明」に福井県と連携して出展

平成30年７月１日～９月30日
省エネ・節電アクションプランを実施
平成30年７月１日～９月30日
いしかわクールシェアを実施
平成30年８月25日、26日
いしかわ環境フェア2018／いしかわ里山里海展2018／いしかわ近未来の環境技術展2018（公益社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議・いしかわ里山づくり推進協議

会・石川県主催）
平成30年12月１日～平成31年２月28日
いしかわウォームシェアを実施
平成30年12月１日
いしかわウォームシェアキックオフイベントを実施（場所・イオンモールかほく）
平成30年12月６日～８日
国内最大級の環境展示会「エコプロ2018」に福井県と連携して出展
平成30年12月14日
恩賜上野動物園からメスの成鳥１羽を受入れ
平成31年３月15日
いしかわ動物園ライチョウ公開記念式典
平成31年３月25日
富山市ファミリーパークからオスの成鳥１羽を受入れ

令和元年７月１日～９月30日
省エネ・節電アクションプランを実施
令和元年７月１日～９月30日
いしかわクールシェアを実施
令和元年８月24日、25日
いしかわ環境フェア2019／いしかわ里山里海展2019／いしかわ近未来の環境技術展2019（公益社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議・いしかわ里山づくり推進協議会・石川県主催）
令和元年12月１日～令和２年２月29日
いしかわウォームシェアを実施
令和元年12月５日～７日
国内最大級の環境展示会「エコプロ2019」に福井県と連携して出展
令和２年３月25日
「石川県環境総合計画」を改定
令和２年３月26日
ふるさと石川の環境を守り育てる条例の一部を改正

令和２年７月１日～９月30日
省エネ・節電アクションプランを実施
令和２年10月27日～11月４日、
11月26日～12月２日
いしかわ環境展／いしかわの里山里海PR展（石川県・公益社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議・いしかわ里山づくり推進協議会主催）

令和３年７月１日～９月30日
省エネ・節電アクションプランを実施
令和３年12月８日～10日
国内最大級の環境展示会「エコプロ2021」に福井県と連携して出展
令和３年12月20日～令和４年２月28日
エコフェスいしかわin Webを公開（石川県・公益社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議主催）
令和４年１月29日
使い捨てプラスチックごみ削減フェア（石川県・公益社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議主催）

令和４年４月１日
石川県、指定希少野生動植物種として１種（カザグルマ）を指定（施行５月１日）
令和４年５月６日
県、能登の４市５町及び関係団体で「能登地域トキ放鳥受入推進協議会」を設置し、能登地域をトキの放鳥候補地として国に申請することを決定
令和４年５月16日
県及び能登の４市５町の連名で能登地域をトキの放鳥候補地として国に申請
令和４年６月24日
ふるさと石川の環境を守り育てる条例の一部を改正
令和４年７月１日～９月30日
省エネ・節電アクションプランを実施
令和４年７月１日～９月30日
いしかわクールシェアを実施
令和４年７月24日
能登地域トキ放鳥推進シンポジウムを開催
令和４年８月５日
能登地域がトキの放鳥候補地として選定された旨公表
令和４年８月20日、21日
いしかわ環境フェア2022・いしかわ環境フェア2022映画上映会／いしかわ里山里海展2022／いしかわ近未来の環境技術展2022（公益社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議・いしかわ里山づくり推進協議会・石川県

主催）
令和４年９月１日
2050年カーボンニュートラル宣言
令和４年９月28日
ふるさと石川の環境を守り育てる条例の一部を改正
令和４年９月30日
「石川県環境総合計画」を改定
令和４年10月10日
「いしかわゼロカーボンの日」制定
いしかわゼロカーボンの日キックオフイベントを実施（場所：石川県地場産業振興センター）
令和４年12月１日～令和５年３月31日
いしかわウォームシェアを実施

令和５年４月１日
温暖化・里山対策室をカーボンニュートラル推進課に改称
令和５年５月21日
いしかわトキの日記念キックオフイベントを開催（能登地域トキ放鳥受入推進協議会主催）
令和５年５月22日
「いしかわトキの日」制定
令和５年７月30日
能登地域トキ放鳥推進シンポジウムを開催（能登地域トキ放鳥受入推進協議会主催）
令和５年８月26日、27日
いしかわ環境フェア2023／いしかわ里山里海展2023／いしかわ近未来の環境技術展2023（公益社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議・いしかわ里山づくり推進協議会・石川県主催）

令和６年４月１日
県民文化スポーツ部女性活躍・県民協働課を生活環境部へ移管
令和６年８月24日、25日
いしかわ環境フェア2024／いしかわ里山里海展2024／いしかわ近未来の環境技術展2024（公益社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議・いしかわ里山づくり推進協議会・石川県主催）
令和６年12月14日
トキこどもフェスタを開催（能登地域トキ放鳥受入推進協議会主催）
令和７年２月14日
令和８年度上半期を目処とした能登地域でのトキ放鳥が決定

令和７年５月24日
いしかわトキの日放鳥決定記念イベントを開催（能登地域トキ放鳥受入推進協議会主催）
令和７年７月16日
能登地域における本州初のトキの放鳥場所が羽咋市に決定
令和７年10月19日
放鳥場所決定記念！トキまなびフェスタを開催（能登地域トキ放鳥受入推進協議会主催）
令和７年11月１日、２日
いしかわ環境フェア2025（いしかわ環境フェア実行委員会主催）
令和８年２月13日
石川県が主たる提案者となり、七尾市ほか９者が共同提案者となる「能登半島地震を踏まえた災害レジリエンス強化と被災地の復興加速」が環境省の脱炭素先行地域に選定